

どんな活動があるの？

学習

生涯学習、
社会教育の推進

福祉

保健、医療、
福祉の増進

子ども

子どもの健全育成、
子育て支援

文化・ スポーツ

文化、芸術、
スポーツの振興

環境

環境保全、ごみ減量

特集 ①

“私のまち”を、もっと暮らしやすく

市民活動に 参加してみませんか？

まち

まちづくりの推進

平和

人権の擁護、
平和の推進

国際

国際協力、海外援助

男女共同

男女共同参画社会の
形成



「市民活動」と聞くと、どんなイメージが浮かびますか？
自分から参加するにはハードルが高く感じられるかもし
れませんが、実はとても身近なものです。
社会をより快適にするための「市民活動」について、
みんなで考えてみましょう。

安全

地域の安全、
見守り、防犯

消費生活

消費者の保護

団体支援

市民活動団体の
運営支援

情報

情報発信、地域情報

災害

災害救援、防災

市民活動って、難しい？

市民活動とは、何でしょう。難しいイメージがあるかもしれませんが、地域社会をより良くしようと皆さんが自発的に取り組む活動のすべてが、市民活動です。活動の内容は、まちの美化や高齢者のサポート、防犯・防災など実にさまざま。自発的な活動だからこそ、地域社会の小さな問題に対しても柔軟に対応できます。

「市民活動を始めてみたいが、何から行えばよいか分からない」という方は、まずは情報を集めてみてはどうでしょう。市の広報誌をはじめ、武蔵野プレスや市役所市政資料コーナーなどには、さまざまな市民活動の情報が集まっています。団体に活動内容を問い合わせしてみたり、実際に活動の様子を見学しながら、自分に合った団体を探すのも一つの方法です。自分にとっての趣味の活動が、ほかの人の助けになることもあります。市民活動という言葉にとらわれず、まずはできることから始めてみませんか。



高齢者の音楽を考える会 (KOKOの会)

主宰者

庵原えい子 (いはらえいこ)

KOKOの会理事長。国立音楽大学卒業後、平成4年から高齢者施設で音楽療法に基づく指導を始める。現在も高齢者施設で音楽活動をする傍ら、講演会やセミナーでも活躍。

取材当日は、特別養護老人ホーム親の家(八幡町)での音楽活動。海をテーマにした曲を入居者とともに楽しみました。

喜んでくれる顔が
いちばんの励み



八幡町の特別養護老人ホーム親の家で開催された音楽活動の様子

KOKOの会来歴

平成4年	高齢者施設で音楽活動を始める。
平成15年	NPO法人高齢者の音楽を考える会を設立。
平成24年	高齢者音楽療法プログラムをテーマにした書籍『歌って元気、心とからだ』を出版。
現在	会員数30名のNPO団体として、主に高齢者施設などで活動中。高齢者音楽アドバイザー育成にも努める。



民活動を でています

皆さんは、日々どのように実際に市内で活動している方たちにきっかけを伺ってみました。



子どもとの関わり方を
活動を通じて学ぶ

アフタフ・バーバン 田島広大さん

●遊びを通して豊かな地域社会を目指す

現在は大学4年生。博物館の学芸員を目指しています。ある学芸員の方からアフタフ・バーバンの本を紹介され、こういう子どもとの関わり方もあるんだと興味を持ちました。同団体が主催する講座に参加したのをきっかけに、月に2回ほど、子ども向けのワークショップやプログラムを手伝うように。大人から子どもへの一方的な関わりではなく、子どもと同じ目線で向き合い、人としてのつながりを持つのが新鮮な体験です。



週に1度、数時間から
気軽に活動に参加

ファングリーン 西川公子さん

●安全で快適な芝生のあるまちづくりを推進

今まで仕事ばかりしてきましたが、そろそろ地域とのつながりを持ちたいと思い、新聞で知ったファングリーンのイベントに参加。以来、サポート会員として、週末に公園の芝生の水やりをしています。広々とした所で水をまくといい気分転換になりますね。芝生の上で地域の子もたちが裸足で遊んでいる姿を見るのも、気持ちがいいものです。週に1回、1～2時間だけでも参加できるので、気軽に活動しています。





2 選曲

プログラムを考えながら、いろいろなテンポの曲を取り混ぜて選曲。参加者の年代も意識して選びます。



1 テーマを決める

季節に合わせたテーマを、音楽活動ごとに設定。今回は「海」をテーマに準備をスタート。



3 小道具をそろえる

演奏する楽器と併せて、テーマに沿った小道具を用意。今回は貝や海をイメージした布など。



4 衣装を考える

参加者をより楽しませるために、明るく華やかな印象の衣装をセレクトします。

「もし自分が歌えなくても、一緒に楽しむだけでいい。」待っていたわよ。「声が励みになりますね」。

「高年齢者向けの音楽活動のニーズを見たのが、活動のきっかけ。当時は専業主婦でしたが、音楽療法の勉強を3年間した後、個人で活動を始めました」と理事長の庵原さん。平成15年にはNPO法人として認められ、同様の活動を行う指導者の育成にも努めています。

私たち、市 楽しん

市民活動に携わる
活動をしているのでしょうか？
その活動内容や、始めた



キャリアを生かして 「お手伝い」からスタート

モンキーマジック 野村式栄さん

● 障がい者も参加可能なフリークライミングスクール

大学の同級生だった代表者と、卒業後アウトドアの店で偶然会い、「お手伝い」の感覚で参加するようになりました。私自身もキャリアカウンセリングなどを仕事にしており、活動内容に仕事と重なる部分があったのも、参加するきっかけになっています。社会人が仕事をしながら市民活動が続けるのは大変なこともあります。興味があるなら週に1回、おけいごとの感覚で始めてみるのもいいかもしれませんね。



定年退職を機に参加。 地域に親しむきっかけに

むさしの歩こう会 辻 憲彦さん

● ウォーキングを通して市民の健康づくりを推進

仕事を定年退職したのを機に参加して、4年近くになります。月1~2回の開催ですが、毎回50名近くの人々が参加するので、これまで関係が薄かった地域での知り合いも増えました。ただ健康のために歩くだけでなく、文化財や自然のことをレクチャーしてくれるコース設定も魅力的で、趣味が広がりましたね。まちのパトロールをするボランティアにも参加しているので、自分が住んでいるエリアのことが、少しずつ見えてきました。



地域社会の課題解決に 不可欠な「市民活動」

人々が多様な価値観を持つ現在、地域社会のニーズや課題も複雑になってきています。市民生活をサポートし、より良くするためには、行政サービスだけでは量的な側面や公平性への配慮などから限界があります。

一方、市民活動は、市民のニーズを敏感に感じ共感を得ながら、先駆的できめ細やかな対応が可能で、地域の防災や子育て支援、高齢者支援やまちづくりなどさまざまな分野において、地域の壁も越えて市民生活を支えています。改めて注目を集めたのが、平成23年に発生した東日本大震災における自発的な支援活動です。その柔軟な活動は、現在もおおきな役割を果たし続けています。

大きな可能性を持った市民活動をさらに活発なものにするため、武蔵野市は平成24年に武蔵野市市民活動促進基本計画を策定しました。この計画では、市民活動を促進するための目標や理念を整理し、これからの取り組みや方向性について示しています。

なぜ今、 市民活動促進なの？

平成24年に策定した
市民活動促進基本計画は、市民活動について市全体で
目標や考え方を共有し、さらに活動を活発にするための計画です。

● 計画の目標 ●

市民活動団体は、そのきめ細やかな取り組みで、これまで行政では対応しきれなかった課題を解決できる存在として期待されています。市民活動がより活発になることで、団体同士や企業、行政を含めた連携や協力が進み、それぞれが持つ以上の力を引き出し合い、地域の課題解決に向かうことを目指します。

● 市民活動促進にあたっての三原則 ●

自発性・
自主性の
尊重

団体の思いや理念を受け止め、公益的活動の担い手となるパートナーとして相互理解に努めます。

先駆性・
多様性の
尊重

団体の特性を生かした事業ができるよう、団体からの情報提供や政策提言、事業提案を尊重します。

自律化・
自立化の
促進

団体自身の考えと環境に応じて活動できるよう、活動内容や特性に応じた多様な支援策を用意します。

活動を立ち上げる際の課題 (市民活動団体へのアンケート調査より)

活動参加者の確保	52.3%	活動に必要な設備や機器の確保・充実	26.2%
活動拠点となる場の確保	41.5%	活動内容や活動方針の決定	23.1%
周囲の理解や協力	33.8%	他の団体との連携・ネットワーク	12.3%
活動資金の確保	27.7%		

調査対象：過去に市が協働事業を実施したことがある市民活動団体(任意団体およびNPO法人) 106団体/
調査時期：平成23年6月下旬～7月中旬/複数回答

市民活動をサポートしています

武蔵野プレイスが総合的に支援

● NPO マネジメント事業

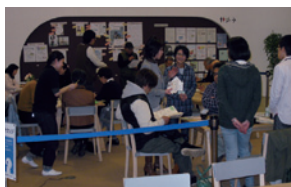
団体の会計や広報に関する講座などを実施するほか、市民活動に関する相談にも応じています。



市民活動マネジメント事業「広報講座」の様子

● 相互交流・理解促進事業

市民活動フロアについての意見交換や団体同士の情報交換を行う相互交流イベントのほか、市民活動団体のニーズを反映させる事業として、さまざまな企画を各団体から募集する「市民活動団体企画講座」なども行っています。



市民活動団体交流会「春のイベントアピール大作戦!!」の様子

● 啓発事業

市民活動への興味や関心を高める啓発イベントや、武蔵野プレイスの市民活動支援の状況などをお知らせするニューズレターの発行、武蔵野プレイ스에登録されている団体情報の収集・提供を行っています。



市民活動啓発事業「あなたの街の市活人(しかつんちゅ)展」の様子

※施設・サービスの詳細は7頁をご覧ください。

財政面をサポート (NPO補助金)

市内に事務所を置く特定非営利活動法人(NPO法人)に対し、公益活動経費の一部を補助しています。1団体につき年1事業が対象で、20万円が限度です。

交付にあたっては、事業計画などの書類審査やプレゼンテーションなどを通して、厳正に審査が行われます。交付された団体は、年度末には報告会に参加して実績を示します。

平成25年度は、15団体の事業に活用されます。

団体による 企画提案を生かす

生涯学習事業プロポーザルで選定され、今年2月9日に開催された「国木田独歩『武蔵野』から読み解く今身近な自然と私たち」の様子



市の事業の中には、各団体から広く企画を募集し、採用された企画の活動費用を市が補助するものもあります。

例えば、生涯学習分野では、「武蔵野らしさを活かした生涯学習事業」を企画・実施する団体を募集。委託契約に基づく事業費負担のほかに、会場の確保や市の広報媒体による周知なども行います。

子育て支援としては、子育て家庭を地域で応援する取り組みについての企画・実施団体を今年6月に募集。選ばれた2団体によるカフェ事業や絵本を使った事業が秋からスタートします。

武蔵野市民社会福祉協議会による支援

同協議会では、「福祉のまちづくり」を目的に、市民活動を含むボランティア活動全般を支援しています。活動団体に対する助成のほか、ボランティアをしたい人としてほしい人とのマッチ

問：同協議会ボランティアセンター武蔵野 ☎0422-23-1170

ング、ボランティア入門講座、定年前後の方々を地域の活動につなげるイベント「おとばサロン」なども開催。毎月第1日曜発行の広報紙「ふれあい」もご覧ください。

市民活動を身近に感じられる事業を開催 (市民活動促進事業)

身の回りの課題や毎日の生活の中で気になったことを「ひとごと」として遠ざけてしまうのではなく、自分のこととしてとらえ、できることから始めてみる。それも市民活動の第一歩です。一人では難しいことも、何人か集まればみるみる形になっていくこともあります。市民活動への参加と課題解決に向けた団体の活動を促進するため、市では市民活動団体と協力し、さまざまな事業を行っています。

その1 やってみよう！ じぶんごと プロジェクト

(市民活動推進のための理解事業・わたしの市民活動事業)

「市民活動をやってみたいけれど、何から始めたらいいの？」と感じた市民が、実際に活動をしている方のお話を伺い、ワークショップでほかの参加者と意見交換をすることで、「自分ができること」を考えていくイベントです。平成25年度は3回予定し、最終回は11月に実施します。



平成25年度の市民活動促進事業はNPO法人モンキーマジックによる企画・運営。7月の講演とワークショップでは、ごみ拾い活動をきっかけに、地元・伊豆市の地域活性化に取り組む飯倉清太さんをゲストスピーカーに迎え、まちの活性化について考えました。武蔵野市ではどんなことができるだろうかとユニークな意見が飛び交いました。

その4 いつでも どこでも 情報発信事業

さまざまな世代や環境にある市民に、活動を始めるきっかけとなる情報を提供するため、紙面やフェイスブックを使って情報発信を行っています。「武蔵野市市民活動かわら版」を検索してみてください。



フェイスブックでは、さまざまな団体からの投稿を受け付けています。

「市民活動かわら版」は年3回発行予定です。



その2 武蔵野NPO アワード事業

今年4月からの1年間に、「どれだけ魅力的で楽しく、価値がある活動をしたか？」を市民の皆さんに発表し、投票によりその活動を表彰しようというイベントです。これから活動を始める市民や、すでに活動を始めた団体の活動を広げるため、情報交換と交流の促進を図っています。実施は、来年2月を予定しています。

その3 市民活動× わたしⅡ 未来のむさしの

(住みやすいみんなの街づくりイベント事業)

5月に、市民活動に取り組んでいる4名の方を招き、「多様な人が安心して暮らせるまちづくりとは何か」についてのパネルディスカッションを行いました。それぞれの立場から市民活動への思いや考えを披露し、「これから自分ができる市民活動とは何か」について、考えるきっかけとなるイベントとなりました。



● プリント工房



カラーの
チラシも
印刷可能!

活動に必要なチラシやパンフレットの印刷ができます(登録団体専用・有料)。大量印刷向けの印刷機、カラー印刷機のほか、紙折機や裁断機、大型ホチキス(針は持参)があります。データを持参すれば、データからの出力印刷も可能です。

● ワークラウンジ



どんどん
打ち合わせを
しよう

武蔵野プレイスに市民活動団体として登録すると、打ち合わせや会議の場として、無料で使用できるオープンスペースです。ホワイトボードの無料貸し出しもあります。

● 市民活動情報コーナー



活動の
ノウハウを
ゲット

市民活動に関する書籍や雑誌がそろったコーナー。登録団体のイベントチラシもあるので、「何かしたい」という方の情報収集にお勧めです。実際に活動中の方には、市民活動団体・NPO法人向けの助成金情報や登録市民活動団体情報も提供します。

市民活動を 考えているなら、 武蔵野プレイス 3階へ!



武蔵野プレイスには、市民活動を支える万全のサポート体制が整っています。かゆい所に手が届く充実のサービスを、ぜひ活用してください。

● 市民活動カウンター



気軽に
何でも相談
受付中

市民活動についての相談に、担当者がいいつでも対応。活動で困ったことが生じた場合や、「活動を始めたいが、何からすればいいかわからない」など、迷ったときは、ぜひここへ。

武蔵野プレイス市民活動 フロアだより(ニューズレター)

市民活動フロアの様子、これから行う講座やイベントの周知、実施した講座やイベントの報告、登録団体の紹介などを行っています。年4回発行。

DATA

武蔵野プレイス

武蔵野市境南町2-3-18

☎0422-30-1903

開館時間：午前9時30分～午後10時

休館日：毎月第3金曜/毎週水曜

(第3金曜のある週を除く)

● ロッカー・メールボックス

登録団体は、打ち合わせに必要な書類や活動で使うアイテムを保管できるロッカーを利用できます(大型ロッカーは有料)。団体への連絡に便利なメールボックスも、無料で利用できます。



まるで
無料のシェア
オフィス